

ひめた高松ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

No.1097

16.4.5

生活が苦しいとき 生活保護制度の活用を

生活保護は、働いているかどうにかかわらず生活に困ったとき、国民の誰もが憲法25条や生活保護法などにもとづいて、権利として最低生活の保障を申請（請求）できる制度です。

国の責任で生活を守る制度

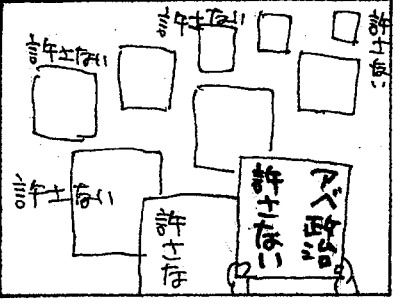
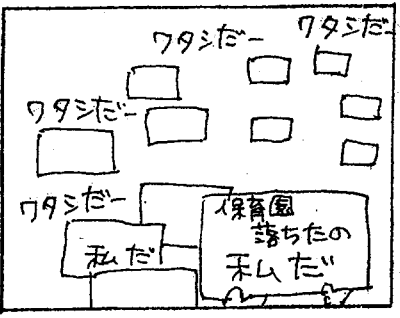
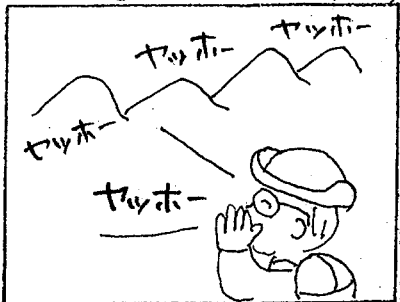
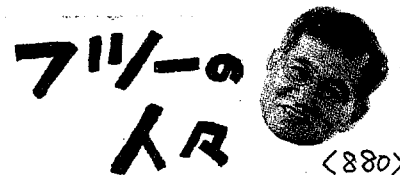
現在の生活保護法は、第二次世界大戦のあと、世界的な生存権（人間らしく生きる権利）保障制度を確立する運動の流れと、民主主義とくらしを守る国民の要求と運動の中で、1950年にできました。

生活苦や貧困、病気は個人の責任ではなく、政府の低賃金政策や食い健康・医療・福祉政策、労働政策、経済政策などの社会的要因によるものです。生活保護法は、こうした社会的要因による生活苦から、国

基準以下の収入なら対象に

このことから、不十分な面をもちながらも、生活保護基準は、少くとも国が決めた国民の「健康で文化的な最低生活」に必要な生活費の基準となっています。

第1類(食費)			第2類(光熱)		
年令	基準額	年令	基準額	世帯	基準額
0~2	24,100	20~40	34,740	1人	36,880
3~5	27,090	41~59	35,570	2人	45,360
6~11	31,090	60~69	35,230	3人	53,480
12~19	35,410	70以上	30,580	4人	55,690
遊減率(第1類の合算に乘じる率)			加算		
1人	2人	3人	4人	5人	6人
1.00	0.885	0.835	0.7675	0.714	0.701
家賃・地代等(上限)			障害1.2		
1人	2人	3~5人	1人	3	母子
34,000	41,000	44,000	24,470	16,310	21,200



今週のフツの人々

(その43)

みるみる広がる国民のSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)ハイパーネット上の会員制サービスの一種。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や、新たな人間関係を構築するための場を提供する。広辞苑より

4日付けの日刊赤旗一面に俳人の金子惣太さんが自筆の「アベ政治を許さない」のプラカードを掲げた写真が載っています。



ひめた高松

すぶてを載せていません。速減率、第2類、家賃等について世帯人数ごとの規定がありません。収入があっても基準額以下の世帯であれば、この差した。文化団体連絡会議が開いた「つどい」に先立ち東京の大塚駅前であべを叫びました。これは作家の澤地久枝さんが毎月掲げようと提唱し全国に広がりました。「保育園落ちた。日本死ね」は、切実な叫びとその気持ちを汲み取らないアベ首相とその仲間たちに対する痛烈な批判として「落ちたのは私だ」が全国に広がりました。と、ちも山彦みたいや!

額が保護費として支給されます。基準額の計算の仕方は、世帯員の年齢により第一種(食費)と第二種(食費)とに分かれています。

申請前にお話し 市議団に相談を

申請手続きは、市役所東庁舎1階の生活保護課の相談窓口「生活保護の申請をください」と言ってくたない。生活に困っているので生活保護の申請の意思があれば、申請できます。

(火熱水)と住居費の合算したものが1カ月の標準額に。別に、障害者、妊婦、母子、児童扶養手当が加算されます。

しかし、申請そのものについてお話しすることもあります。

で、市役所生活保護課に相談・申請する前に、私ひめだ、または日本共産党市議団(435561113)にご相談ください。

申請受理後、申請世帯の資産(預貯金や生命保険など)、扶養義務者の扶養の意思の調査などがあり、決定までおおむね1カ月かかります。生活保護の開始が決まれば、申請日から生活保護が開始されます。

困った場合は、まず相談することをおすすめします。生活保護制度は、使っていく意味があります。必用なときは、ぜひ利用してください。

日本共産党

駅の安全・利便性の改善

大阪・和歌山の地方議員のみなさんと南海電鉄本社に行き要望書を提出交渉を行いました。南海の2014年度の決算をみると業績は好調です。

参加者から、「無人駅で子どもがホームと列車の間に転落した」、「バギーが挟まれ引きずられる事故があった」など人命にかかわる事故も起きている。命を守るの、利益を優先するのかの問題だと詰め寄りました。南海はカメラやインターホンなど遠隔操作で安全は確保できていると言

います。住民から寄せられている声は切実です。私からは、住民の声を真摯に受け止め、公共交通機関の責任、企業の社会的責任を果たしてほしいと訴えました。



坂口 美子 (参院選区)

潮流

国家国民のために、全身全霊でとりくんできた。TPP交渉の現場でも、この国の未来に思いをはせながら、

調査では、9割超の農業者らが「不安」と答えています。影響をひた隠す政府に代わり、国会議員や市民団体が協定を分析して問題点を取り上げています。国民の間には不安や疑問がひろがるなかで、TPPの承認案

と関連法案の国会審議が始まります。安倍首相は早期発効に向けた機運を高めていくといいますが、交渉を担った人物が口を閉ざしているなかでも、審議ができるのか。日本とアメリカがリードして、アジア太平洋に自由と繁栄の海を築き上げる」と持ち上げる首相。しかし誰のための自由と繁栄か。TPPの正体が明らかになるほど、争い上がるのは、米国や多国籍企業の利益のために日本の国が壊され、国民が犠牲になる将来です。

見えを切ったのは誰か。あの甘利明・前経済再生担当相です。道路建設をめぐるJRと都市再生機構への口利き疑惑で閣僚を辞任してから2カ月。いまだ入院を理由に疑惑について説明責任を果たしていません。▼TPP交渉の担当責任者だった甘利氏。本人は国益を守るために体を張ったといいますが、参加国との交渉の経過中自身は秘密のまま。安倍首相が「国家百年の計だ」というTPPの全体像も明らかにされていません。▼農業だけでなく、私たちの暮らしの多岐にわたるTPP。日本農業新聞の

戦後法改正の新しい世界。赤旗 日刊新聞4000円